

演劇ワークショップ参加者募集！！

～ 新しい表現を発見することに興味がある方を募集しています ～

ワークショップ概要

- ・内容
自身も聴覚に障害があるイギリスの演出家、ジェニー・シーレイによる、日本語、日本手話、英語、イギリス手話などが飛び交う、演劇の体験講座。
一つのテキスト(未定)をベースに、様々な表現の手法や創作のヒントを探ります。
- ・ワークショップリーダー
ジェニー・シーレイ(演出家)
- ・ワークショップスケジュール
平成21年12月5日(土) 11:00～17:00
同 12月6日(日) 11:00～17:00
- ・場所 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール(両日とも)
(JR埼京線与野本町駅下車 徒歩7分)
- ・参加費 無料(昼食は各自で持参して下さい)
- ・定員 16名(定員を超えると抽選になる場合があります)
- ・応募方法 演劇ワークショップ参加希望を明記の上、住所、氏名、年齢、性別、電話(FAX)番号、障害の有無・種別を記載し、下記申込先までFAXかE-mailでお申込み下さい。(電話受付も可能)
- ・主催 埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会
- ・協力 エイブル・アート・ジャパン



「血の婚礼」より 撮影：金子良郎

お問い合わせ・申込先

埼玉県障害者アートフェスティバル
実行委員会 事務局
(埼玉県障害者福祉推進課内)
電話：048-830-3312
FAX：048-830-4789
E-mail：a3310@pref.saitama.lg.jp

応募要件

- ・高校生以上で、2日間のワークショップに両日とも参加できる方。
- ・新しい表現を発見することに興味がある方であれば、障害や演劇経験の有無は問いません。
- ・埼玉県内・県外在住を問わず応募できますが、応募者多数の場合は、県内在住枠を設ける場合があります。

ワークショップリーダー

ジェニー・シーレイ (Jenny Sealey) 演出家



身体障害のあるプロの俳優やスタッフによる英国の劇団、グレイアイ・シアター・カンパニーの芸術監督を97年からつとめる。

手話と音声描写を効果的に使う、刺激的で革新的な作品を創作、英国やヨーロッパで高い評価を得る。

2007年に来日し、日本の障害者や俳優とのワークショップで創り上げ、公演を行った「血の婚礼」は、その高い芸術性とどんな人でも楽しめる演出技法が大きな話題となった。

英語から日本語への通訳及び手話通訳がつかます。

募集期間：

平成21年10月20日(火)～11月13日(金)

締め切りを過ぎても定員に満たない場合は、先着順で申し込みを受け付けます。

土・日曜日2日間の
ワークショップです。
障害の有無は問いません！！



埼玉県の
マスコット
コバトン